

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 4

令和7年度 5月28日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「たくましい子」

地域、保護者の皆様とともに！

ご承知の通り、学校運営協議会制度を持つ学校のことをコミュニティースクールと呼びますが、本校は今年4年目を迎えました。先日、第1回の会議が開催され、学校運営計画の承認等が行われました。コミュニティースクールの推進については、今後の白山市の教育において、目指す姿と各種施策の方向性が示された「第2次白山市教育振興基本計画」（令和7年3月策定）の中でも、示されています。



その方向性として、『学校が保護者や地域住民等と教育目標やビジョンを共有し、その理解・協力を得ながら学校運営を行うことで、家庭・学校・地域等が一体となって子どもたちを育む』としています。今後、委員の皆様からは、保護者の皆様にもご協力頂く「学校評価」に係る学校の取組やその進捗状況等にご助言頂くことになっています。

また、本計画では、地域の方々のお力を借りることを通して、『子どもたちは、学校だけでは得られない知識や経験を得ることができ、地域は学校を中心とした地域・世代間の連携によって、よりよいまちづくりにつながり、住民にとって日々の生きがいがいづくりにつながる』としています。学校の教育活動が充実したものとなるよう、今後も引き続き、地域の皆様方のお力添えをお願いいたします。



非認知的能力を高める

近年、教育の上で「非認知的能力」の大切さが重要視され、学力向上に繋がる能力や社会に出た時に企業が求める能力とされています。具体的には「自分で自分の行動を律する力、計画をたてて実行する力」「最後まであきらめずにやりとげる力、忍耐力」「自分の気持ちをコントロールして、仲間と協力して学習に取り組む力」「思いやりや意欲・やる気、好奇心」等です。学校ではこれらの力の育成も考慮して、児童に働きかけています。

また、ある調査では**学力上位の子どもの家庭環境**として以下の点があげられています。

- ①**規則的な生活習慣**：「早寝、早起き、朝ごはん」。テレビやゲームの時間やルールを決める。決めたことを子どもが守っているか関心をもち、確認する。
- ②**非認知スキル**（自制心や意欲、忍耐力など）を高める働きかけ
良いところを褒めて自信を持たせる。努力することや最後までやり抜くことの大切さを伝える。自分と異なる意見や少数意見の良さを生かしたり、折り合いをつけたりする。
- ③**知的好奇心の刺激**：子どもに本や新聞を読むように勧める。小さい頃絵本の読み聞かせをした。外国語や外国の文化に触れるように意識する。
- ④**しっかりとした家庭学習**：計画的な勉強を促すこと
- ⑤**子どもとの会話**：学校、友達、将来、世の中の出来事等の会話、地域の活動に親子で積極的に参加する。

お子様の生活習慣を整え、非認知スキルを高めることや知的好奇心を刺激することがお子様の学力を高め、将来性を広げることに繋がります。保護者の皆様が率先して手本となる姿をお子様に見せたり、お子様にきっかけや気づきのポイントを伝えたり、励ましの言葉をかけたりして頂きますようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。